

2024年12月9日

フューチャーアーキテクト株式会社

フューチャーアーキテクト、信濃毎日新聞と共にコンテンツ編集に特化した AI モデルの研究開発を開始 コンテンツの品質向上と業務省力化に向け、統合編集 CMS「GlyphFeeds」への実装を推進

フューチャー株式会社(証券コード:4722、以下フューチャー)の主要事業会社であるフューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:谷口友彦、以下フューチャーアーキテクト)は、信濃毎日新聞株式会社(本社:長野県長野市、代表取締役社長:小坂壮太郎、以下信濃毎日新聞)と共に、メディア業界のコンテンツ編集に特化した生成 AI モデルの研究開発を開始し、コンテンツ管理システム「GlyphFeeds」への実装を目指します。

信濃毎日新聞 GlyphFeeds

「経営と IT をデザインする」フューチャーアーキテクトは、「コンテンツが持つ価値を最大化する」をコンセプトにメディア業界向けに独自開発したクラウド型 CMS (Contents Management System) 「GlyphFeeds」を提供しています。

信濃毎日新聞は、紙とデジタルの一体運営や変化対応力の強化、記者の働き方改革を目的に「GlyphFeeds」を導入し、この度両社で省力化と品質向上を目指し独自の AI モデルの研究開発に取り組みます。

フューチャーの AI 専門チームと共に 2024 年 12 月より実証実験に向けた開発を開始し、有効性を確認したうえで「GlyphFeeds」へ実装し広くメディア業界で活用されるサービスへ発展させていくことを目指します。

■コンテンツ編集業務における生成 AI の活用イメージ (一部)

- ・紙/WEB など個別の掲載媒体に合わせた見出し生成
- ・コンテンツに付与する検索性タグの生成
- ・文脈を考慮した間違い箇所指摘や過去記事との整合性チェック

■メディア業界向けクラウド型 CMS「GlyphFeeds」とは

紙の新聞を作ることを目的としたフローから、高品質のコンテンツをいかに早く作るかに力点を置いたフローへ切り替えることを目指しフューチャーアーキテクトが開発した統合編集 CMS です。紙とデジタル両方の編集・検索・配信に対応し、コンテンツ作成におけるコミュニケーションコストの最小化を実現します。クラウドをベースに、拡張性を備えたマイクロサービスアーキテクチャを全面採用しているため、生成 AI など多種多様なサービスとの連携が容易で、変化対応力を備えているのが特長です。2018 年の稼働開始から新聞社への導入を積み重ね、省力化だけでなくサービスの進化・コンテンツ価値の最大化といった競争領域の発展に貢献しています。

フューチャーオウンドメディア「LEAD TO THE FUTURE」参考記事: https://www.future.co.jp/lttf/detail/220617_glyphfeeds/

*「GlyphFeeds」はフューチャー株式会社の登録商標です。

■本件に関するお客様からのお問合せ先

フューチャーアーキテクト株式会社 ビジネスデベロップメントグループ: 篠崎

お問い合わせフォーム: https://www.future.co.jp/apps/contact/fai/service_solution_entry.php

■本件に関する報道機関からのお問合せ先

フューチャー株式会社 広報担当: 竹田、松本、石井 TEL:03-5740-5721

お問い合わせフォーム: https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press_interview_entry.php